

## 業界マークの説明



### ニューイメージマーク

本マークは、自動車整備業界および事業場の新しいイメージ宣言に込められた「クルマ環境創造への取り組み」と「快適なオアシス整備事業場の実現」とを、わかりやすくビジュアル化したものです。

潤いあるオアシスを象徴するヤシの葉をクルマのフォルムに見立てることで、「環境にやさしく、人にやさしい」整備業界を表わし、また、クロスする二台のクルマのデザインは、「人やクルマが盛んに交流する」活気あふれる事業場をイメージしたものです。また、四枚の葉はそれぞれ、「より良い地球環境」「より豊かなカーライフ」「より身近なコミュニケーション」「より良いサービスの提供」をめざす整備業界の方向性を示しています。

- ・オアシス⇒ 環境にやさしく、人にやさしい整備業界
- ・4枚のやしの葉⇒ 「より良い地球環境」「より豊かなカーライフ」  
「より身近なコミュニケーション」「より良いサービスの提供」
- ・2台のクルマ⇒ 人や車が盛んに交流する活気あふれる整備工場

### まちとクルマのオアシス

各整備事業場がまちや暮らし、クルマをリフレッシュし、豊かな潤いを作り出すというイメージであり、事業場の展開としては、地球やまちにやさしい環境づくりへの取り組み、まちに開かれたコミュニケーションの場づくり、長年培われたノウハウ・情報の提供、信頼できる整備技術の提供、ニーズに応じたサービス・商品の集積、新しいクルマ生活の提案等を行います。

### クルマ環境創造業

21世紀のクルマ社会を前提に、常日頃の怠りない点検・整備を通じてのクリーンな地球環境の創造、ユーザー志向のさまざまな生活提案によるクルマ環境の創造、そして、本業である正確で高度な点検・整備技術を駆使したクルマ安全環境の創造を意味します。

### 21世紀クルマ社会に向けて

これらのイメージは社会的貢献性・有用性をアピールするとともに、整備業界・整備事業場においては、自らの考える次代の夢やビジョン、また、新しいクルマ社会やクルマ生活のあり方を皆様に提供してゆくことで、広く21世紀クルマ社会の重要な一員となるとともに多くの皆様の共感と支持が得られるものと考えます。

今後、整備業界・整備事業場ではあらゆる機会を通じてこのイメージを広めて行く努力をして参りますので皆様のご協力・ご支援をお願い致します。

### てんけんくん

てんけんくんは「点検＝点犬＝てんけん」という発想から生まれました。この愛らしい“犬の整備士さん”のキャラクターはマイカー点検のより一層の普及のために、さまざまな場面で活躍しています。





## 整備業界マーク

整備業界の連帯意識を強め、業界の有する社会的使命、モータリゼーションの健全な発展を担う重要な役割を象徴したものです。

- \* 前面のV字型曲線はタイヤのサイクロイド・カーブ（軌跡曲線）を現わしています。
- \* 車輪は自動車を現わしています。
- \* 力強い人物像は古代ギリシャの健全なスポーツマン像から採り入れたもので整備士を現わしています。
- \* 肩に担いでいるスパナは整備作業用工具類を示しています。
- \* 人物の左手による指差は自信と誇りを示しています。

つまり、「右側の軌跡曲線を描いて走行して来た自動車が基底点で整備士によって安全性・公害防止面での正確な点検・整備を施され、安心を得てさらに左側へ軌跡曲線を描いて走行して行く。整備士は自分が作業を施した自動車について自信と誇りをもって走行指差をしている」ということを表したマークです。